

「月食を撮る(7)」

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

天気予報通り夜半近くになって、東京は少しずつ曇ってきた。徐々に満月に戻る月にも、少し霞みがかかってきた。こういう月食はまた美しい。私は雲を気にしながら、撮影をしつつ家路についていた。



2018_0131_2340 / Tokyo

(茅場町駅付近で撮影)



2018_0131_2355 / Tokyo

(門前仲町で撮影)

月食の最後に、再び私の好きな「せんべいひと口」の月が現れた。これも少し霞がかかって美しかった。

我々現代人は、皆既月食を正確に予報し、その天文現象が起きる理由も理解している。しかしそうした科学的な知識がなかった古代人にとっては、皆既月食は大変な驚きだったにちがいない。真っ赤に染まった月を仰いで「神の怒り」とでも感じたかも知れない。その後、徐々に光を取り戻し、また満月に戻ってゆく月の姿に、さぞほっとしたことだろう。

「皆既月食の 連続写真」

2018,-1,31

東京都文京区、
千代田区、
中央区、江東区
で撮影

2ページ目に印刷
用拡大画像あり



2018_0131_2040-2350 Tokyo / C.Tanaka



2018_0131_2040-2350 Tokyo / C.Tanaka